



平成25年度全国学力・学習状況調査(中学校調査)
中核市A市の場合

帳票データに基づく予備診断イメージ

設問別正答率

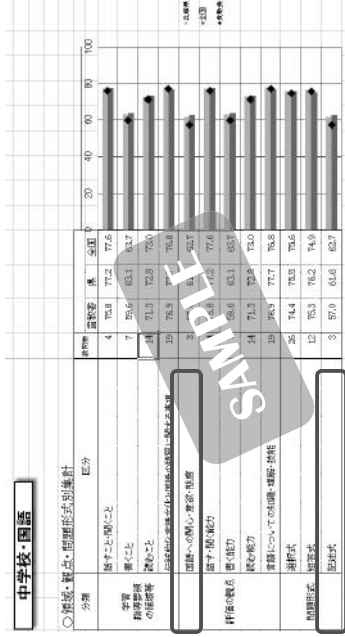
■よくできている(全国平均より5ポイント以上高い)

| 教科 | 設問番号 | 設問の概要 | 貴教委 | 県(公立) | 全国(公立) |
|-----|------|---------------------------|------|-------|--------|
| 国語A | 8-3 | 漢字を書く(着物に合わせてオビを選ぶ) | 75.2 | 72.2 | 66.7 |
| 国語A | 8-7 | 適切な語句を選択する(今年の夏の暑さには閉口した) | 56.1 | 49.2 | 46.6 |

■課題がある(全国平均より5ポイント以上低い)

| 教科 | 設問番号 | 設問の概要 | 貴教委 | 県(公立) | 全国(公立) |
|-----|------|---|------|-------|--------|
| 国語A | 8-1 | 適切な語句を選択する(友達に将来の抱負を話す) | 57.3 | 60.0 | 62.7 |
| 国語B | 2-3 | 文章を読んで感じたことや考えたことを具体的に書く(記述式) | 56.9 | 63.2 | 65.7 |
| 国語B | 3-3 | 間違えやすい漢字を学習する際の注意点やコツを、漢字の特徴を取り上げて説明する(記述式) | 57.1 | 61.2 | 64.6 |

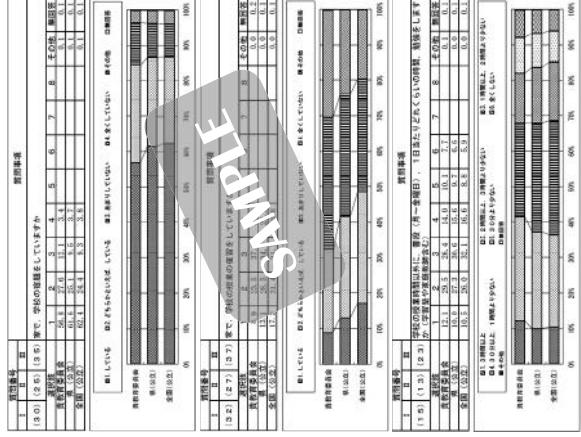
【分析】
A問題(漢字の書き取り, 語句の選択)でよくできている設問がある一方で, B問題の記述式2設問の正答率が低い



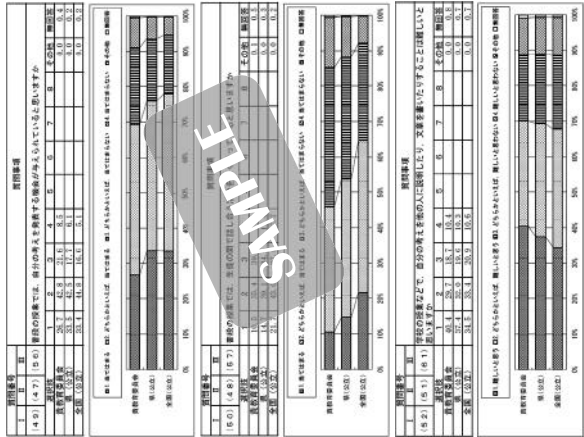
【分析】
記述式/国語への関心・意欲・態度に関連する設問の正答率が全国平均より5ポイント以上低い

帳票データに基づく予備診断イメージ

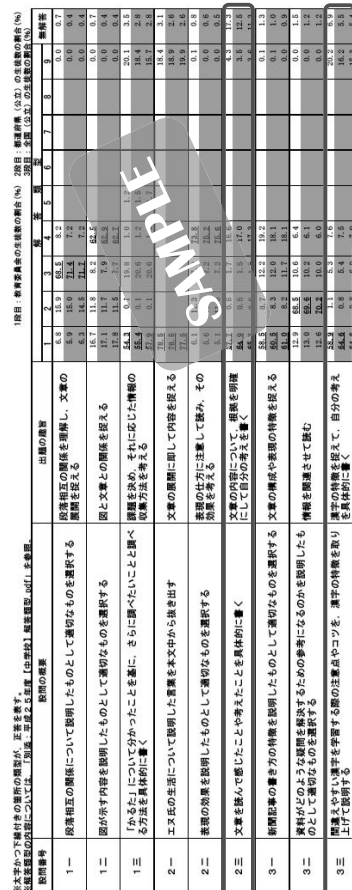
回答結果集計 (生徒質問紙)



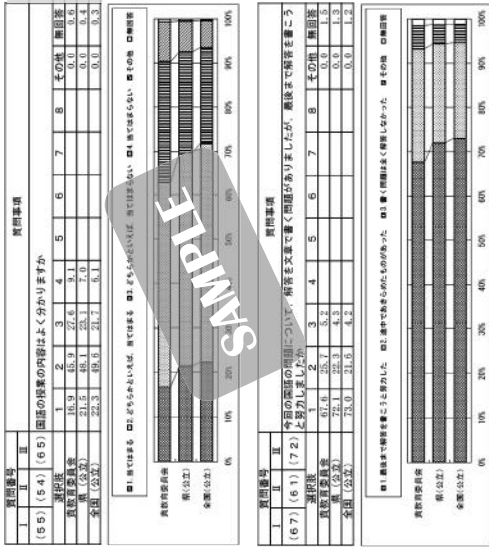
回答結果集計 (生徒質問紙)



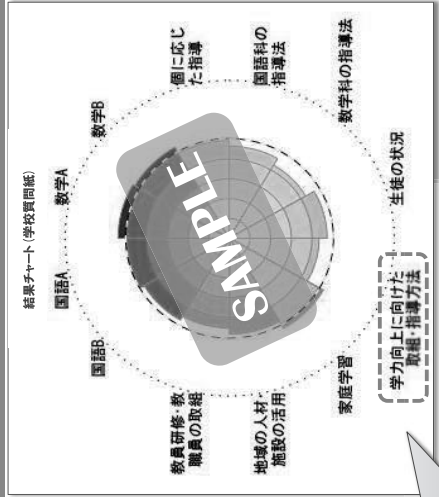
類型別調査結果



回答結果集計 (生徒質問紙)



結果チャート (学校質問紙)



分析から明らかになったこと

| | |
|---|---|
| 「学校の宿題」「学校の予習」をしている生徒の割合が全国平均より5ポイント以上低い 生徒質問紙 | 「学校の宿題」「学校の予習」をしている生徒の割合が全国平均より5ポイント以上低い 生徒質問紙 |
| 「学習塾(家庭教師含む)で勉強をしていますか?」では通塾率は全国平均より10ポイントほど高い 生徒質問紙 | 「学習塾(家庭教師含む)で勉強をしていますか?」では通塾率は全国平均より10ポイントほど高い 生徒質問紙 |
| 家庭学習の時間が短いわけではない(むしろ全国平均より若干高い) 生徒質問紙 | 家庭学習の時間が短いわけではない(むしろ全国平均より若干高い) 生徒質問紙 |
| 「自分の考えを発表する授業がある」「生徒間で話し合う授業がある」「授業で自分の考えを発表するのは難しい」について、全国平均より5ポイント以上低い 生徒質問紙 | 「自分の考えを発表する授業がある」「生徒間で話し合う授業がある」「授業で自分の考えを発表するのは難しい」について、全国平均より5ポイント以上低い 生徒質問紙 |
| 学校質問紙結果チャートでは「学力向上取組」に関する項目が全国平均より約30.7ポイント低い 学校質問紙 | 学校質問紙結果チャートでは「学力向上取組」に関する項目が全国平均より約30.7ポイント低い 学校質問紙 |
| 記述式/国語への関心・意欲・態度に関連する設問の正答率が全国平均より5ポイント以上低い 生徒質問紙 | 記述式/国語への関心・意欲・態度に関連する設問の正答率が全国平均より5ポイント以上低い 生徒質問紙 |
| A問題(漢字の書き取り、語句の選択)でよくできている設問がある一方で、B問題の記述式設問の正答率が低い 設問別正答率 | A問題(漢字の書き取り、語句の選択)でよくできている設問がある一方で、B問題の記述式設問の正答率が低い 設問別正答率 |
| 正答率の低い記述式設問では、無回答(類型0)、類型9の割合が全国値より高い 類型別調査結果 | 正答率の低い記述式設問では、無回答(類型0)、類型9の割合が全国値より高い 類型別調査結果 |
| 「国語の授業がよくわかる」「国語の記述式設問を最後まで解こうと努力した」が全国平均より5ポイント以上低い 生徒質問紙 | 「国語の授業がよくわかる」「国語の記述式設問を最後まで解こうと努力した」が全国平均より5ポイント以上低い 生徒質問紙 |

分析の方針

- * 比較基準を決めて比べる
 - * 今回は「全国(公立)」とする
- * 「5ポイント以上」の差があるところをみる
 - * 文部科学省が「意味のある差」としている値
- * 差がある→「ということは、どういらいらことか」を考える
 - * 結果に解釈を加える
 - * 分析者の思い・主観もOK

帳票の読み方



1-1. 設問別調査結果 (国語・算数)

領域・観点・問題形式別の正答率および、設問別の正答率をまとめたもの

平均正答率では差がなくても、領域・観点によって差がみられるところがないか

学習指導要領の領域

小中学校の学習指導要領の目標および内容に基づき設定

評価の観点

小中学校の学習指導要領の目標および内容に基づき設定

問題形式

選択式・短答式・記述式の3種類

設問別の正答率および無解答率をみる

1-2. 設問別(解答類型)調査結果 (国語・算数)

誤り方の種類を含めた、最大10の「解答類型」への反応率をまとめたもの

解答

特徴的な誤りの仕方をしていないか？

類型0は無解答、類型9はそれ以外の解答(全問共通)

※設問別調査結果を見た後に、特徴的なものをさらに見るときに利用
※使わないのもOK

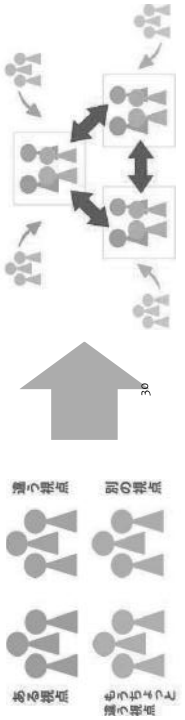
28

ワークシヨップ①

ワークシート(2)

* グループの中で、担当割を決めてください

1. 設問別調査結果(国語)
 2. 設問別調査結果(算数)
 3. 児童質問紙回答結果集計
- * さきほどのグループの他メンバーに説明できるように、わかったことをワークシート(2)欄にまとめておきましょう



30

2. 児童質問紙回答結果集計

生徒の生活習慣・学校環境等について、生徒一人ひとりの回答をまとめたもの(生活習慣・学習習慣・学習規律・自尊感情等)

例)

朝食を毎日食べていますか
1：している
2：どちらかといえば、している
3：あまりしていません
4：全くしていません

普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか

- 1：4時間以上
- 2：3時間以上、4時間より少ない
- 3：2時間以上、3時間より少ない
- 4：1時間以上、2時間より少ない
- 5：1時間より少ない
- 6：全く見たり、聞いたりしない

29

分析の方針・再

- * 比較基準を決めて比べる
 - * 今回は「全国(公立)」とする
- * 「5ポイント以上」の差があるところをみる
 - * 文部科学省が「意味のある差」としている値
- * 差がある→「ということは、どういうことか」を考える
 - * 結果に解釈を加える
 - * 分析者の思い・主観もOK
- * 各結果を「組み合わせたら何が言えるか」を考える

31

ワークショップ②

大衡小の児童が伸ばすべき資質・能力とはどのようなものでしょうか？ ホワイトボードにまとめみてください。

- * まずは、それぞれの分析でわかったことをグループで共有しましょう
- * 3人の分析を持ち寄って、問いへの回答を書いてみてください。その際、データのどこからそう考えるのかを具体的に示してください
- * メモはワークシート(3)欄を自由に使っていただきたい結構です

ワークシート(3)

32

最後に、あらためて

ワークシート(4)

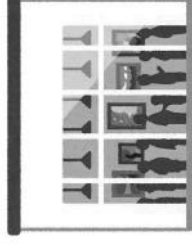
あなたは、大衡小の児童が伸ばすべき資質・能力とはどんなものだと思いますか？ その理由・根拠とともに具体的に書きください。

ワークシート(5)

本日のご意見・ご感想をお書きください

全体共有

- * 他グループのホワイトボードを見に行ってみましょう
- * 分析からわかったこと
- * 大衡小の児童が伸ばすべき資質・能力とは
- * その理由・根拠



33

役職・担当学年

お名前

(1) あなたは、大衡小の児童が伸ばすべき資質・能力とはどんなものだと思いますか？

その理由・根拠とともに【具体的に】お書きください。

(資質・能力【具体的に】)

(その理由・根拠)

↓これ以降の欄はワークショップ中に使用します↓

(2)

担当 (○をつけてください)

国語 ・ 算数 ・ 質問紙

(3)

島記号

(4)

(資質・能力【具体的に】)

(その理由・根拠)

(5) よろしければ本日のご意見・ご感想をお書きください。

終了後、本シートをスタッフまでご提出ください。

大衡小学校 第1回目研修会アンケート

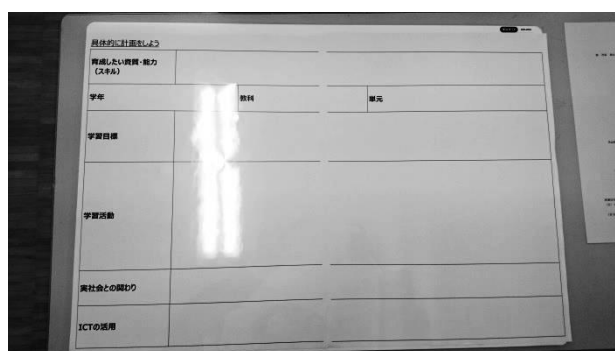
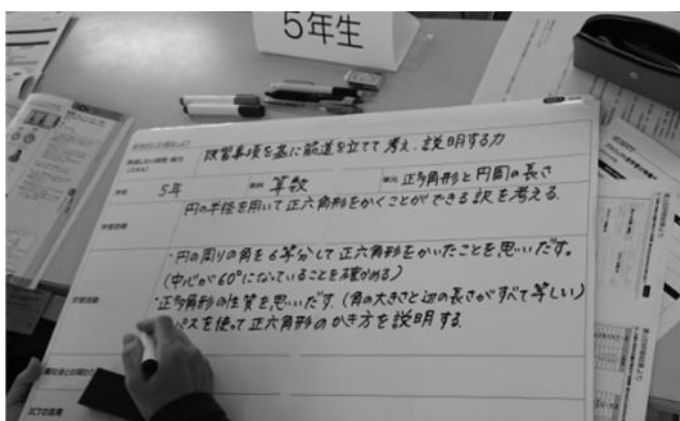
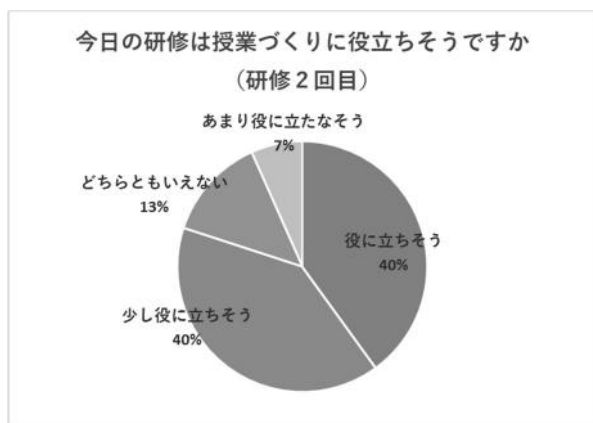
- (1) 今日の研修内容はあなたの授業づくりに役立ちそうですか？
- (2) (1) でそのように考えた理由を教えてください。
- (3) 今回の研修をとおして、あなたは今後どのようなことに取り組もうと考えましたか？
- (4) (3) を実現するにあたり、必要なもの（障害）があれば記入してください。
- (5) 今日の研修をより良いものにするため、お気づきの点やご意見をお願いします。

| グループ | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
|------|-----------|--|--|---|--------------------------------------|
| 国語 | 役に立ちそう | 教科は違っても、課題に共通するものがある。課題の中には家庭生活が関わっているものがある。これらの関係性が明確に分かりました。 | 授業や家庭学習の内容に読む・書く・話すを多く盛り込んでいくこと | 限られた授業の中での作文指導（添削など）の時間がたりないこと | よい機会をいただきましてありがとうございました。 |
| 国語 | 少し役に立ちそう | 自校の結果を基にした研修だったので | 児童の伸ばしたい資質を意識しながらの教育活動 | 児童とじっくり関わる時間（行事・会議等の減） | |
| 国語 | 役に立ちそう | 課題がわかりました。自分の授業で欠けていた点にも気付かされました | 短絡的に解答を求めるのではなく、じっくり考える場面・意見を交換する場を多く設定したいと思います | 基礎学力も不足しているので、その点を補充する場（家庭学習等の協力をどのようにして得るか） | |
| 国語 | 役に立ちそう | 数値のデータを多面的に読み取ることで、本校児童に伸ばしたい資質・能力が明確に意識できたため | ・現在も『今勉強していることは日常の中で役立つ』という視点で授業をしているが、その大切さを再認識したので今後も継続したい。 ・条件に合わせて文章を書かせること | 児童の学ぶ意欲が根本的に低い。近くの高校には入れたらそれでいいという意識が親にもある。授業の中で意欲を高めていかねばならない。 | 大変ありがとうございました。 |
| 国語 | 少し役に立ちそう | 課題を再認識することができました。特に5・6年と2年担当している児童の実態について、多くの先生の考えを聞くことができ、貴重な機会でした。具体的に今からどうしていくか…についてまた考えていきたいと思っています。 | 少しでも児童の意欲を引き出せるような授業の工夫。授業準備・教材研究 | 限られた時間の中で準備すること | また次回あるということなので楽しみにしています。ありがとうございました。 |
| 国語 | 少し役に立ちそう | 自分で考えていたことが他人と共有できたから。 | 急がず、基本的なことにじっくり取り組みたいと考えた。 | 時間 | 時間をもっとかけると尚良い |
| 算数 | 役に立ちそう | 今回の研修を通して、普段の授業の中での自分自身の課題を見付けることができた。 | 算数科の授業で図や絵を書く（表す）場を積極的に取り入れ、図を活用させたい。 | | |
| 算数 | 少し役に立ちそう | 算数の時間に何が足りなかったのかが見えてきたと思う。 | 図を描く、図に書き込む等の作業 | 単位時間内に終了できるようにする計画 | 休業期間中に実施できると良いと思います。 |
| 算数 | どちらともいえない | 校内の調査部での分析検討を終えていたため | 分析結果と実態とを考え、不足しているところ（経験等）を少しでも補っていきたい。 | 学級内の個人差 | |
| 算数 | 役に立ちそう | 子供たちに伸ばしていきたい力は何かを話し合ったことで、自分たちが今後何をすべきかが再認識できたから。 | 子供たちに考える場を多く設定したり、話し合う場を設定したりするなどの授業過程を考えていく。今学習していることが今後の生活に役立つものだということを意識させていき、学習に意欲的に取り組めるようにしたい。 | | 大変役に立ちました。ありがとうございました。 |
| 算数 | どちらともいえない | 自分の中でまだ整理されていない（具体的に学校生活のどのような場面で生かせるか等） | 子供の意欲を高める取り組み（教科も大事だがそれ以外の部分も） | 時間？でしょうか（親の協力も） | 思いつきません |

| グループ | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) |
|------|-----------|---|---|-------------------------------|--|
| 算数 | 役に立ちそう | 児童に身に付けさせるべき資質・能力を教職員全体で確認することができました | 読書の楽しさを伝え、少しでも文章慣れさせていきたいです。 | 時間が足りない。教科指導（単元）にもう少しゆとりがほしい。 | |
| 質問紙 | 役に立ちそう | 漠然と感じていたことが数字を通してはっきり確認することができました | 話す・読む・書くに今まで以上に大事に取り組みたいです。 | 特にありません | 特にありません。 |
| 質問紙 | どちらともいえない | 具体的な方法まで行きついていないから | 今まで通り読解力をつける実践を続けたい | 家庭の協力（A3のほうに具体的に） | ・電卓を準備したほうが効率的と知らせてほしかった。 ・事前に渡された本を使うと聞いていたので読んできたが、使わなかったのはなぜか。 |
| 質問紙 | 役に立たなそう | 数字をもとに分析することで客観的な調査分析ができることがわかったから | 今回の分析結果をもとに育成すべき力をつけるために授業に取り入れるべきものは何かを考えていきたいと思います。 | 必要な力を育成していく具体的な指導内容と指導方法 | ジグソースタイルでの研修会は楽しかったですし、効果的な研修方法だったと思います。 |
| 質問紙 | 役に立ちそう | 結果を見ていくと、指導していて足りない部分が見えてきたから。 | 学習に興味を持たせる指導（具体的にはまだ見えていませんが） | 担任ではないのでコミュニケーションカだと思えます | 分析の研修は早い時期に（結果が出てすぐあたり）にできるとよいと思いました。 |
| 質問紙 | 少し役に立ちそう | 養教なので授業に生かすことはできませんが子どもたちと対応する際に生かしていきたい。 | 保健室での対応に生かしていきます。 | | 結果集計をじっくり読み解くことははじめてだったので勉強になりました |

大衡小学校における研修 2 回目

- 実施日：2016年12月26日 9:30～11:30
- 実施会場：大衡村立大衡小学校
- 参加者：文部科学省 伊野哲也，後藤成美，宮城県教育庁 加藤琢也
宮城県総合教育センター 小川典昭，仙台教育事務所 石川寛之
株式会社内田洋行 平野智紀，嶋田幸子，松岡祐樹，前田勇一
宮城教育大学 安藤明伸，松本仁一，中澤寛子
- 実施の趣旨・目的：
 - ① 児童に身につけてほしいスキル・伸ばしたい資質・能力と併せて 21 世紀型スキルの理解
 - ② ICT の特性を理解し，場面に応じた適切な ICT 活用の重要性の理解
- 実施のスケジュール
 - 9:30-9:35 研修の趣旨説明
 - 9:35-9:45 前回の振り返り
 - 9:45-10:05 21世紀を生きる児童・生徒が身につけるべきスキル
 - 10:05-10:25 効果的な ICT 活用のポイント
 - 10:25-11:25 21世紀型スキルを育成する授業デザイン
 - 11:25-11:30 クロージング
- 当日の配布物
 - ① 単元計画シート
 - ② プロジェクト型学習の特徴チェックシート
 - ③ 授業アイデア例
 - ④ 研修会アンケート
- 実施アンケート総合評価：



「効果的な ICT の活用と 21 世紀型スキルを育成する授業デザイン」 開催要項

1. 日時/会場

日時: 2016年12月26日(月) 9:30~11:30

会場: 大衡村立大衡小学校

宮城県黒川郡大衡村大衡字平林 13 電話番号:022-345-2424

2. 研修概要

児童・生徒が来るべき時代を自分たちで形成し、世界的に活躍していくために、自らが課題を見つけ、自らが考え、解決するための力(21世紀型スキル)を育成することが重要と考えます。児童・生徒が主体的に課題を解決する「思考支援型」授業を実現するため、また ICT を効果的に活用し、主体的・対話的・深い学び(アクティブ・ラーニング)を実現する授業を「Intel Teach Elements プロジェクト型アプローチ」を参考にし、授業デザインや授業運営、指導手法、そして評価の方略を考えます。

3. ワークショップ目的・目標

- ① 大衡小学校の児童に身に付けてほしいスキル・伸ばしたい資質・能力と併せてこれからの子どもたちが身に付けるべき力(21世紀型スキル)を理解する。
- ② ICT の特性を理解し、場面に応じた適切な ICT の活用が重要なことを理解する。
- ③ ①②を踏まえた授業デザインを考え、3学期からの授業で実践していく。

4. 環境/準備物

| 項番 | 分類 | 項目 | 数量 | 担当 |
|----|-------|--------------------------------|------|------|
| ① | 環境 | プロジェクト | 1セット | 学校 |
| ② | 環境 | マイク | 1セット | 学校 |
| ③ | 機器/器具 | ホワイトボード&マーカー | 6セット | 内田洋行 |
| ④ | 資料 | Intel Teach Elements PBA 資料 | 25式 | 内田洋行 |
| ⑤ | 資料 | 全国学力・学習状況調査 平成28年度 授業アイデア例 小学校 | 25式 | 内田洋行 |

5. 事前準備/学習

5.1. 事前準備

| | |
|----|---|
| 準備 | 各学年1グループ、6グループを作成してください。学年に所属していない先生は適宜各グループに入ってください。 |
|----|---|

5.2. 事前学習

| | |
|--------------------|--|
| 事前学習 I (7~8min) | 書籍 筑波発「教科のプロもおすすめする ICT 活用術」(東洋館出版社)の下記ページに目を通してください。 P.11~P.13 「3 ICT だから持ち合わせている特性を活かす」 P.129~P.130 「ICT をつかってはいけない場面!？」 |
| 事前学習 II (15min) | Intel Teach Elements プロジェクト型アプローチ(以下 PBA)事前学習ビデオの視聴(13:15) http://school.uchida.co.jp/intelteachelements/pba/ <参考>Intel Teach Elements プロジェクト型アプローチオンライン研修コース http://school.uchida.co.jp/intelteachelements/ ※事前学習ビデオを視聴後、Intel Teach Elements PBA をさらに詳しく学習したい方、ご興味を持たれましたら、ご覧ください。 |